

## 【第三回 蒲田西プラットフォーム開催内容】

- ◆開催日:9月30日(水)18時~19時
- ◆場所:大田区社会福祉センター 4階
- ◆参加者:34名+東京工学院大学生・オンライン(22名)  
地域関係者、介護事業者、障害者福祉事業者、東京工科大学、シニアクラブ、民生委員児童委員、社会福祉法人、NPO 法人、(株)JCOM、民間企業等。
- ◆話し合いの内容:
  - ・グループワーク形式(5グループ)の話し合い



《工学院生がオンラインで参加の様子》

### 【話し合いのテーマ・内容】

#### ■コロナ禍を通じ、感じたこと、悩んでいること、逆に嬉しかったこと

- ⇒オンラインの活用が取り上げられているが、情報弱者である高齢者への支援が浮き彫りになった。
- ⇒会えない中での工夫が行え、手紙を書いて届けるような活動も行えた。
- ⇒広い会場の確保の限界を感じている。
- ⇒大変な思いをしているのは子どもたちの方ではと感じる。
- ⇒マスク等の寄付等、逆に地域の支援の手が増えた。

#### ■この期間を通じて、自ら、地域に必要なだと感じていること

- ⇒地域にアプローチができる団体どうしがプラットフォームを通じて、地域にどのような支援ができるかを考える必要あり。
- ⇒対面が難しい分、孤立している方へのアプローチ、働きかけの工夫が必要。
- ⇒地域に相談できる人がいることをどうPRするか、知ってもらうかが大切。

### ◆アンケート結果:参加満足度:80%

#### ■主な参加者の声:

- ・コロナ禍で地域の方と久しぶりにお話することができ、状況を知り共有する機会となりました。
- ・ここでしか聞けない話を聞くことができました。皆さんの熱い情熱を感じれました。
- ・地域の活性化したいという意見が多くありました。人との付き合いの大切さが共有でき、災害時の協力できる体制にもつなげていきたいとの話も伺えました。

#### ■今後話し合いたいこと:

- ・情報弱者に対するアプローチについて
- ・各々の活動のPRについて
- ・地域の防災活動について
- ・世代間のつながり方について
- ・新たに人と人がつながるには~共通点探し~
- ・地域活動とオンラインの活用の仕方について
- ・地域の活性化について何が出来るか、若者の地域参画について
- ・小学校単位での分科会、勉強会を開催したらどうか



《グループでの話し合いの様子》